

出前授業「猪名川河川レンジャー」授業実施例

- 実施校：神田小学校 3年生
- 授業実施日：2022年7月15日（金曜日） 10時30分～11時30分 2クラス
児童：34人×2クラス＝68人（班編成：3～4人×18班）
- 実施者：国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所
- 講師：猪名川河川レンジャー：大東河川レンジャー、水谷河川レンジャー
（事務局：株式会社 東京建設コンサルタント 関西本社 地域環境部）
- 実施場所：中国道の高架下の猪名川の河川敷の（河原）

実施内容：『猪名川』の河川敷での『野外学習』を実施

『猪名川』にかかわる「河川レンジャー」の皆さんの話を聞く

『猪名川』に係る体験学習・観察（ゴミ観察・生き物観察・水質観察）

流れ	内容
猪名川河川レンジャーの紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・猪名川河川レンジャーの役割や活動の紹介 ・講師、スタッフの紹介
猪名川の水質についての学習	<ul style="list-style-type: none"> ・猪名川の水質の歴史、現在の猪名川の水質を説明 ・猪名川の水質調査体験 実際に猪名川の近くに移動し観察をしました。 ①川の観察…ゴミの量は？川底の様子は？ ②水の観察…カップに川の水を汲んで観察。水の色は？にごりは・においは？ ・水質パックテストによる調査（CODの値で判定） パックテストは、チューブの中に入っている試薬で簡単に水質を調べることができ、試薬の色の変化で水の中の汚れ具合を見ることができます。 ①猪名川でくんだ水でパックテストを実施。色の変化を観察。 ②同じ水にジュースを少しまぜ、パックテストを実施。ジュースがまじったことで汚れた水の色の変化を観察。 ①と②の結果を比較しました。
猪名川の生きもの講座、生きもの観察	<p>【猪名川に棲む魚のパネル】</p> <p>○猪名川には海から溪流までの多様な魚が生息しています。</p> <p>【水槽の魚の観察】 各クラスに2水槽＝4水槽</p> <p>○朝に猪名川で採取した魚・水生生物について学習しました。</p> <p>○透明カップなどに移して、魚などを触って観察 さかな、カニ、オタマジャクシなど</p> <p>【外来植物観察・ゴミ観察】</p> <p>○外来植物や朝に猪名川で回収したゴミなど、猪名川の環境のマイナス面についても、実物で知る事ができました。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果をまとめ、共有します。 ・猪名川の水は汚れていると思っていたが、実際に観察するととてもきれいで匂いもなかった。 ・水質パックテストで、魚が棲むことができる水質であることが分かった。ごく少量のオレンジジュースでもCODによる色の変化があり、魚が棲めない汚れになる事に気付いた。 ・猪名川の環境の問題（外来種、ゴミ）と、猪名川の自然を守る事に関わる人たちの事を知る事が出来ました。 ・子どもたちからの質問コーナー…たくさんの質問がありました。

【授業の様子】



川の水の観察



s h

パック検査



猪名川のいきもの



質問コーナーと授業のまとめ



[授業のポイント]

- ・猪名川河川敷で行う校外学習です。
- ・川の様子や水を観察し、水質パックテストを使った調査を行う体験型の環境学習です。
- ・「川と私たちの日常生活とのつながり」＝「環境」を体験的に学ぶことができました。

以上